

渋谷区立松濤美術館 プレスリリース

中島千波

とおもちゃシリーズ

— 画家のひみつ —

おもちゃたちも美術館にやってきました!
秘蔵のおもちゃ大集合!!

2016.5.31 TUE — 7.10 SUN



N A K A J I M A C H I N A M I



展覧会概要

中島千波（1945～）は、いま、画壇の最前線にいる日本画家の一人です。東京藝術大学在学中から日本美術院展で入選するなど、早くから才能を発揮していました。花鳥画や人物画、風景画と画題は幅広く、また、装画や挿絵等も手掛けており、制作活動は多岐にわたっています。

中島千波が生涯描き続けたいと語っているのが「おもちゃシリーズ」です。メキシコをはじめとして、ペルーやフランス、ベルギー、インド、日本のおもちゃなど、自身で集めたおもちゃをモチーフに描いています。窓を背景に花とともに描かれる素朴なおもちゃたちは異国情緒が漂い、神秘的で楽しそうな世界をつくりあげています。それは、千波が最も楽しんで描く、真心から生まれた作品です。

本展では、おもちゃシリーズの作品約 60 点に加え、モチーフになったおもちゃたちも展示室内に配し、会場を彩ります。また、おもちゃシリーズを制作するために描かれた花のデッサンも同時に展示いたします。様々な角度から入念に描かれたデッサンは、中島千波の描く世界の秘密を垣間見させてくれることでしょう。

おとぎ話のようなおもちゃの世界をお楽しみください。

中島千波 略歴

1945 年、日本画家・中島清之の三男として長野県上高井小布施に生まれる。1965 年、東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻入学。在学中に院展に入選するなど早くからその才能を発揮する。卒業後、国内外の美術館・百貨店で数々の展覧会を開催。2000～2013 年、東京藝術大学教授を務め、現在同大学名誉教授。人物画のシリーズや花鳥画、風景画を描く一方、“おもちゃシリーズ”の第一作を 1972 年に描き、以後、生涯描き続けたいと語るシリーズとなる。

展覧会のみどころ



《薔薇の季節》2008年 個人蔵

楽隊が華やかに演奏していたらそれを聴いてトラが出て来てしまった、というイメージで描かれた絵です。なんともロマンチックな感じが感じられます。楽隊の衣装のデザインやトラの縞模様、下に描いたインドの更紗など、模様の組み合わせも面白い作品です。



《ポインセチアと兎》1997年 個人蔵

中島氏が新橋でたまたま見つけて購入したフィンランドの張り子の兎で、垂れた耳と立ち姿とのバランスの良さを気に入った思い出のあるおもちゃだそうです。日常のちょっとした出会いから生まれた心温まる作品です。





《雑器粟の花ざかり》2008年 個人蔵

ポピーの曲がり具合が少しオーバーに見えるかもしれませんが、それこそがおとぎ話のようなワクワクする小さな世界をつくり出しています。そんな楽しい世界を作りたい、という思いは今でも中島氏の制作活動のモチベーションになっています。



《花祭り》2008年 個人蔵

素朴なおもちゃを描く他の作品とは異なり、精巧につくられた御所人形を描いた作品です。御所人形に合わせて日本風にしようと描いた桜は少し装飾的で、金糸で織ったようなきらびやかな模様のある下の布と調和がとれています。





《ちゅうりっぷの咲いた夜》2008年 おぶせミュージアム・中島千波館蔵

珍しい種類のチューリップとおもちゃとの組み合わせのおもしろさに中島氏が喜々として描いた作品です。ひとつのおもちゃから、つぎつぎとストーリーがうかんでくるのはこどもの頃に見たディズニー映画や記録映画といったものの影響かもしれません。そこからおとぎ話のようなおもちゃシリーズの絵は作られました。



《デッサン チューリップ08.1.30 (a)》2008年 個人蔵

本展覧会では、おもちゃシリーズを制作するために描かれた花のデッサンも同時に展示します。入念に描かれたデッサンは素朴なおもちゃの存在をより際立たせ、おもちゃの世界の神秘性を効果的に高めています。（本作品は上記《ちゅうりっぷの咲いた夜》のチューリップのデッサンです。）

会期中のイベント

展覧会関連

◎中島千波氏 特別トークショー「中島千波とおもちゃシリーズ」

6月12日（日） 午後2時～

*要入館料 *定員80名 ※事前予約の必要はありません *直接、地下2階ホールへお越しください

◎特別ギャラリートーク

6月3日（金）、6月25日（土） 午後2時～

中島千波氏ご本人による特別ギャラリートークです。

*要入館料 *事前予約の必要はありません

*上記の特別トークショーと特別ギャラリートークの当日、図録または書籍をご購入の方を対象にサイン会を行います。詳細は美術館HPでご確認ください。

◎学芸員によるギャラリートーク

7月3日（日） 午後2時～

*要入館料 *事前予約の必要はありません

会期中のイベント

◎ギターコンサート

6月4日（土） 午後2時～

出演 村治奏一氏、大坪純平氏

*要入館料 *定員80名（応募者多数の場合は抽選）

*事前申し込みが必要です。詳細は美術館HPでご確認ください。



◎館内建築ツアー

6月11日（土） 午後4時～午後4時30分

7月1日（金） 午後6時～午後6時30分

*要入館料 *各回定員20名 *事前予約の必要はありません

次回展のご案内

「サロンクバヤ：シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラカナン・ファッション」

7月26日（火）～9月25日（日）

開催概要

- 展覧会名 「中島千波とおもちゃシリーズ 画家のひみつ」
会期 2016年5月31日(火)～7月10日(日)
開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
※金曜は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)
入館料 一般500(400)円・大学生400(320)円・高校生250(200)円
小中学生100(80円)・60歳以上250(200)円
※()は、団体(10名以上)のお客様が同時に入館される場合及び渋谷区民の入館料で、
2割引となります。
※障がい者とその付添の方各1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
※土・日曜日、祝休日は小中学生無料、金曜日は渋谷区民は無料です。
※本展に関しては区内小中学生は無料です。
休館日 6月6日(月)・13日(月)・20日(月)・27日(月)・7月4日(月)
主催 渋谷区立松濤美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協賛 ライオン 大日本印刷 損保ジャパン日本興亜 日本テレビ放送網
協力 おぶせミュージアム・中島千波館 有限会社 空
会場 渋谷区立松濤美術館
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
電話：03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp/>
交通案内 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄渋谷駅下車徒歩15分



お問い合わせ 渋谷区立松濤美術館 (担当：鈴木・増田 展覧会担当：大平・増田)

※広報に関するお問い合わせ (広報用画像もご用意しております。)

電話：03-3465-9421 FAX：03-3460-6366 E-mail：info@shoto-museum.jp